

年間授業計画 新様式

第四商業高等学校（1学年用）

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2単位

◆対象学年組：第1学年 A組～ E組

◆使用教科書：（新 現代の国語（三省堂））

◆教科の目標：国語

【知識及び技能】：生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】：生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】：言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

◆科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◆年間授業計画

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A わかり合うために 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 「コクゴに関する世論調査」によると、相手との伝え合いでは何が重視されているか考える。 2 相手との伝え合いの中で自分が重視していることは何か、考える。 3 考えたことをまわりの人と話し合う。 ・教材 「伝え合いに大事なことを考える」	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	B 確かな情報を伝えるために 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができるとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 教科書 40 ページの写真を見て、何の写真かを考え、まわりの人と意見交換する。 2 「情報はつくられる」を読み、「情報はつくられる」とはどういうことか、説明する。 ・教材 「情報はつくられる」	【知識・技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	C 確かな情報を伝えるために 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 1 情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」なども参考にしながら考える。 2 自分で調べた資料を加えて考えをまとめる。	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の	○	○	○	8

	<p>自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができるとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>3 まとめた自分の考えを3分間で発表する。</p> <p>・教材 「情報を編集し、的確に発表するーパブリックスピーチ」</p>	<p>立場や考えを明確にすることができるとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>				
	<p>D 情報を生かすために</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 文章を読み、概要を把握する。 2 減災のためのツールをつくる時に最も大切なことは何か、筆者の考えを説明する。 3 筆者の考えるハザードマップの問題点を、整理する。</p> <p>・教材 「減災学をつくる」</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	<p>A よりよい読み手になるために【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことができることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 文章を読み、概要を把握する。2 事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。・教材 「読むことのレッスン」</p>	<p>【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことができることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>B 場に応じて伝えるために</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 聞き手を意識して、五枚のフリップを使った方法を確認する。 2 教科書の「学習活動2」にある問題などを参考にテーマを設定し、プレゼンテーションのフリップと発表原稿を作成する。</p> <p>・教材 「構成や展開を意識して発表するープレゼンテーション」</p>	<p>【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	<p>C 説得力を高めるために</p> <p>【知識及び技能】</p>	<p>・指導事項 1 文章を読み、概要を把握す</p>	<p>【知識・技能】 引用の仕方や出典の示し方、それらの</p>	○	○	○	7

	<p>引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>る。</p> <p>2 筆者が芦田愛菜さんの文章を引用した意図を、推論する。</p> <p>3 引用の効果をふまえて自分の「折々のことば」を見つけ、記録する。</p> <p>・教材 「折々のことば」</p>	<p>必要性について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>				
	<p>D 説得力を高めるために</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 自分の好きな本やおもしろいと思った本の紹介を書こう。</p> <p>2 「宝探してみたいに本の世界へ入っていきます」を参考に、実際に「本に触れる」ことをテーマとした提案をする。</p> <p>3 次の手順を参考に、実際にブックトークをする。</p> <p>・教材 「情報を整理して推薦するーブックトーク原稿」</p>	<p>【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	<p>A 説得力を高めるために【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 文章を読み、概要を把握する。2 筆者の伝えたかったことは何か、まとめよう。3 「檻の中の「街」」と読み比べ、表現上の特色を指摘する。・教材 「小さな哲学者」</p>	<p>【知識・技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。【思考・判断・表現】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>B よりよい書き手になるために</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 共通するテーマについて書かれた複数の文章から考えたことを、具体的な事例を用いて書く。</p> <p>2 書いた文章を批評し合う。</p> <p>・教材 「情報を活用して説得的に書く 一小論文」 「書いた文章を批評し合う 一推敲」</p>	<p>【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							70